

子ども達が泳げる天然河川を 未来へ手わたそう！



井上昌彦
2012.7.27

高信の
思郷通信
14
小国川にダムを造るなけれ
損失「年10億円」

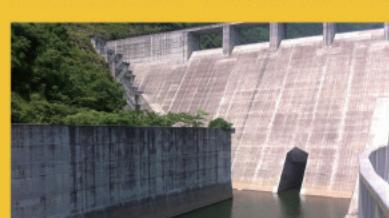


最上小国川ダムが強行されようとしています！ 鮎釣りに年間3万人訪れる清流、最上小国川。

漁業権をもつ、小国川漁協は反対を貫いています。
漁協の同意なくダム本体着工はできません。
周辺工事は全く税金のムダになります。

穴あきダムは清流環境や生態系を破壊します。

- 供用6年の最新型穴あきダム「益田川ダム(島根県)」はダム本体と副ダムの間に土砂やヘドロがたまっています。益田川は、工場廃液が流れ込む漁業権がない川。穴あきダムはまだ、小国川のような清流環境につくられた例はありません。
- 県の委員会では検討不足であり深刻な漁業被害も心配される。(河川生物調査事務所 高橋勇夫)
- 穴あきダムはダムの延命策でしかない歴史的な愚行だ。(元京都大防災研所長 今本博健)



「環境にやさしい」実績も根拠も全くない穴あきダム。



土砂堆積し、河道に迫り出す旅館も。



県がつくった堰が土砂堆積、水害の原因をつくりだしている。

赤倉流域の河道改修、温泉街の再生事業こそ 小国川流域の生命と財産を守る。

- 温泉旅館の湯量確保のために県がつくった堰が、川底に土砂をため、川床があがって、水が流れにくくなり、水害を発生させています。
- 赤倉温泉の水害は、そもそも低い場所にある家々が浸水する「内水被害」です。ダムでは解決できません。穴あきダムの超過洪水時には、被害が増大します。
- 赤倉温泉流域は土砂が堆積し、護岸で川を狭めるなど、極めて不自然だ。温泉街を守るには80億円のダムよりも河道改修が先決だ。(新潟大名誉教授 大熊孝 今本博健 桑原英夫)
- 温泉湯脈に影響を与えることなく河道掘削等をおこなう事は可能だ。(山大 川辺孝幸)

小国川の鮎は、年間22億円の経済効果を流域にもたらしている。ダムで環境が破壊されれば、年10億円の損失になる。(近畿大 有路昌彦研究室)

- 熊本では支流の川辺川ダムを中止し、9月1日から荒瀬ダムを撤去し、川を再生しようとしている。その時代に新たなダムで清流を破壊するのか？
- 地域の延命策としてダム事業にたよるというのではなく愚かな話だ。(元山形大学教授 桑原英夫)
- ダム事業の8割が中央のゼネコンの仕事で地域は潤わない。(衆議院議員 田中康夫)



ダムによらず清流を活かし、温泉の集中管理、赤倉流域の河道改修、下水処理等の温泉旅館街の再生事業こそ流域の持続可能な道では？